

# 令和6年度 第1回 河曲小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年5月10日（金）9:30 ～

2 場 所 河曲小学校 校長室

3 あいさつ

(1) 学校長より

日頃より本校の教育活動にご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。今回の運営協議会では、学校経営方針をご説明し、承認をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

5月24日の運動会に向けて、子どもたちは練習に励んでいます。

(2) 運営協議会委員長より

今年度より委員長を務めることになりました。子どもたちのために尽力していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

4 任命書について

教育委員会より任命書が届いております。お納めください。

自己紹介をお願いします。

(自己紹介)

5 協議事項

(1) 令和6年度学校経営方針（詳細は別紙）

【校長より説明】

学校教育目標達成に向けて、教職員一人一人が学習指導要領の趣旨や内容を理解し、教育指導の充実を図るために、全教職員が一丸となって「チーム河曲」として組織的に取り組む。

(1) 主体的・対話的で深い学びを通して、これからの社会に必要とされる資質・能力（非認知能力等）を育む授業づくり

(2) 互いに認めあい、安心できる学級集団づくり

(3) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制づくり

(4) 安全・安心な教育環境づくり

(5) 学校運営協議会を核としたコミュニティ・スクールの推進

(6) 教職員が働きやすい労働環境づくり

(1) 少人数指導について 河曲小では、3～5年の算数で行っている  
非認知能力育成について 鈴鹿市全市的に注力している

(3) ほっとルームの取組 河曲小独自

鈴鹿市内で小学校に設置されているところはまだ少ない

不登校（傾向）児童は本校でも増加傾向にあり、改善に向けて取り組

んでいるところ

【質疑応答】

Q. ほっとルーム指導員のことを詳しく知りたい。

A. 教育支援課から週9時間、教職員OBが派遣されている。

毎日朝から2限目まで配置 ほっとルームでエネルギーを蓄えて、その後ほっとルームから教室へ行けるように支援している。小学校30校中10校に配置

Q. 最近、不登校の子を無理やり学校へ行かさないという考えも増えてきているようだが、学校ではどのような対応をしているのか。

A. ケース会議を開き、どのような支援が効果的かを検討している。本人の状況や家庭の状況、支援の段階など様々なので、対応策も一律ではない。

意見) 中学校では不登校生徒が50～60人いると聞いた

全校30クラス(10クラス×3学年)とすると1クラスに平均2人の不登校生徒がいることになる。小学生の声をかけられる状況のところから対策対応をしていってほしい。不登校の理由を分析してほしい。

◎令和6年度学校経営方針 承認

(2) 令和6年度学校配当予算

児童数の減少とともに配当予算減額されている

(3) 学校運営協議会開催日程について

昨年度は神戸中学校区拡大大学校運営協議会を含まず6回実施したが、今年度は第4回を神戸中学校区拡大大学校運営協議会とした。そのため、6月の学校運営協議会を実施せず、昨年度6月に協議した内容は、本日と7月の事項に加えた。

(4) ラジオ体操について

7/27(土)、8/3(土) 6:30～ ※雨天…体育館

昨年度は7月と8月の2回で参加者600人強

地域づくり協議会とともに実施

(5) 夏休みポスターコンクールについて

夏休みの課題の一つにして応募予定

本年度のテーマ検討

3年前から取組復活

R4「河曲小学校の未来の姿」R5「河曲小学校の新しい体育館」

選出作品は小学校の廊下に、その後公民館に展示

PTA 役員の見意をもとに題目を決め、地域 Co がチラシを作製

## 5 連絡事項

- (1) 卒業式の服装について
- (2) 学年別下校時刻一覧
- (3) メール配信について
- (4) 令和5年度学校自己評価・学校関係者評価
- (5) 学校運営協議会委員報酬について
- (6) 令和5年度コミュニティ・スクールに関する意識調査結果概要について
- (7) 第1回奉仕作業（草刈り清掃）地域づくり協議会とPTA  
6月1日8：30～D地区（須賀、西十宮、南十宮、東十宮、北中十宮）

---

・第2回学校運営協議会 7月19日(金) 8：30から 校長室

## 6 コミュニティ・スクール推進コーディネーター 加藤先生より

本日第1回の学校運営協議会は、今年度の学校経営方針を認めていただくという場だったが、承認された。ありがとうございます。

今後も日々の学校教育活動、学校での子どもたちの様子を見ていただいて、年度末の評価をお願いしたい。

子どもたちの様子を見ていただく際に、学び合い、ペア・グループ活動、クロムブック ICT を活用した学習などに注目していただきたい。登下校の見守り・温かい声かけは非常にありがたい。お気づきの点があれば学校へお知らせください。教員の働き方改革の推進には、ボランティアの方々のご協力が大きな力となる。今後もよろしく申し上げます。

不登校に関しては、市としても注力しているが増加傾向にある。不応教室（旧けやき・さつき教室）が校区から遠い学校は特に学校の空き教室を活用してほっとルームを設置。まずはほっとルームを利用して登校し段階的に教室へ向かっていけるようにできるとよいと考えている。